



# エイズ (AIDS) 予防について



エイズ (AIDS) とは **Acquired Immuno Deficiency Syndrome** の頭文字をとったもので、日本語では「後天性免疫不全症候群」といいます。「ヒト免疫不全ウイルス (Human Immunodeficiency Virus)」に感染後、数年～十数年の無症状期を経て発症する病気です。

HIV 感染後治療をしないでいると免疫力の低下により、健康な時にはかかる弱い病原体による日和見感染症や悪性腫瘍の症状が現れます。STOP ! AIDS !

## <HIV はどこにいるのか?>

感染している人の血液・精液・膣分泌液・母乳の中→→粘膜や傷口を通して人の体に入る

## <感染経路>

1、性行為（肛門や口腔を使った行為を含みます）による感染

2、母子感染

　　感染している母親から胎盤、産道、母乳を介して赤ちゃんに感染

3、血液感染

　　HIV が含まれる血液等が傷口に入った場合や、血液等が付着した注射器の使用（麻薬などの打ち回し）等により感染

※無症状の期間も HIV は体内で活動し続けているため、他の人に感染させる力があります。

※HIV の感染力は弱く、熱や消毒にも弱いため、ヒトの体の中に入らなければ生きていけません。

このため唾液や尿から感染することなく、職場や日常生活（咳・くしゃみ、トイレ、軽いキス、握手、同じ鍋をつつく、蚊等）で感染することはありません。

## <感染予防(感染経路別)>

1—① NO SEX (セックスをしない) 不特定多数とのセックスをしない。

　　② SAFE SEX (安全なセックス) 特定の相手であっても過去のパートナー等からの感染の可能性があります。ふたりとも感染がないことを確かめておくことが大事。

　　③ SAFER SEX (より安全なセックス) コンドームを正しく使うことが感染の予防に有効。

2—①妊娠 3 か月頃に行う初期検査で、妊婦さんの同意のもと HIV 検査を受けることができます。

　　②妊娠初期に感染が分かり適切な対策（服薬+帝王切開+人口授乳）をとることができればほとんどの赤ちゃんは感染せずに生まれてきます。

3、血液がつく可能性があるカミソリ、歯ブラシ、ピアスなどは共用しない。

医療職は針刺し事故に注意し、針刺し事案が生じた場合は速やかに報告する。

## <治療の進歩>

HIV 感染症とエイズの治療は急速に進歩し、服薬により HIV が体内で増えるのを抑えながら付き合っていく慢性疾患としての面が大きくなっています。治療を続けながら感染する前とほぼ同じように生活することができます。

HIV 抗体検査はどなたでも無料で受けることができます。予約方法等詳しくは、市保健所、県健康福祉センターにお問い合わせください。

